

在学院生の声

■ 教職大学院へ進学した理由

子ども一人一人が安心できる学級経営の在り方について学びたかったからです。学級経営については学部の授業ではほとんど取り扱いません。しかし、教職大学院は理論と実践の往還ができます。今、現場で何が必要とされているのか、何を学ばなければならないのかについて知ったうえで教師になりたいと思い、進学しました。

(生徒指導・教育相談系 2年生)

学部時代は、経済学部にも所属しながら教職課程を履修し、小学校から高校までの教育の接続性を学んできました。小学校の教育実習を終えた頃、子どもへの指導の仕方に悩んだ時期がありました。私の専門分野である経済やICT教育を生かしながら、より教育を専門的に学び、研究・実践したいと考え、進学しました。

(ICT活用・科学ものづくり推進系 2年生)

■ 学部の授業と異なる点

学部の授業に比べ、自分たちで考え、答えを出す授業がかなり多いように感じます。ほとんどの授業でグループディスカッションが行われており、同じ志を持つ学部直進学生や現場での豊富な経験や知識をもつ現職教員学生、それぞれの専門分野に精通した教授と題材について深めることができる点が最大の違いだと思います。

(小学校教育指導系 1年生)

より学校現場に近い実践的な授業が展開されています。実際の学校現場で起こるようなシナリオが用意され、どのように対応すべきかグループで考える授業があります。不登校児童の対応、アレルギー対応、地域の方からの申し出など、様々なシチュエーションを学部直進学生だけで考えるだけではなく、学校現場を経験されてきた教授や現職教員学生から直接フィードバックをいただくことで、教師としてのスキルを向上させることができました。

(ICT活用・科学ものづくり推進系 2年生)

■ 修了後の目指す教師像

高い指導力を持ち、子どもが「面白い!」「もっと学びたい」と思えるような授業をすることができると同時に、学級経営においては子どもに寄り添い、安心した学校生活を送れるような場を提供できる教師になりたいです。

(小学校教育指導系 1年生)

一人一人の子どもに寄り添える教師であり続けたいです。私が教師になりたいという夢をくれた恩師のように、一人一人と真正面から向き合い、一人一人にあった関わり方を模索し続け、子どもたちとともに個性を尊重し合える学級をつくっていきたいです。そのためにも、2年次の研修では、目の前の子どもがどうしてそういう行動をしたのか、何を考えているのか、何を頑張りたいと思っているのかを丁寧に捉えられるように一人一人と向き合っていきます。

(生徒指導・教育相談系 2年生)

- 教職大学院修了見込みにより愛知県教員採用試験1次試験免除
- 教員就職率9割以上(学部比+2割以上)
- 教育実践を分析・検証し、研究力を磨く「探究力向上プログラム」
教育現場における実践的指導力・応用力を身に付ける「教職力向上プログラム」を導入
- 特定教科に限定しない小学校授業に特化した「小学校教育指導系」履修区分を開設
- 実際の教育現場で学べる長期研修
- 研究者と実務家教員の相互指導による
- 理論と実践の往還
- 現職教員学生と学部直進学生との共修による学びの深化
- 教職大学院在籍時の日本学生支援機構第一種奨学金が返還免除

(教職大学院修了後翌年度より正規教員となった場合)



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

愛知教育大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

教務企画課大学院係 TEL: 0566-26-2679

入試課 TEL: 0566-26-2203

愛知教育大学長
野田敦敬

悩むくらいなら
教職大学院へ
ススメ



愛知教育大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

詳しくは
HPへ



学部での研究を深化する

探究力向上プログラム

■ 令和6年度から、「教科指導重点コース」と「児童生徒発達支援コース」に「探究力向上プログラム」を導入しました。このプログラムでは、学部での研究をさらに向上させ、教師としての専門性をより高度なものとしていきます。連携協力校での実践的な研究を深め、論文制作に取り組みます。

大学院修了後に本学と静岡大学の共同教育課程である「共同教科開発学専攻」（後期3年のみの博士課程）を目指すことも可能です。



現場で必要なスキルを習得

教職力向上プログラム

■ 探究力向上プログラムと同時に導入したのが「教職力向上プログラム」です。

このプログラムは、大学院修了後すぐに教育現場で活躍できることを目指し、基本的な授業づくりや基礎的な指導技術などの実践力を習得するためのものです。

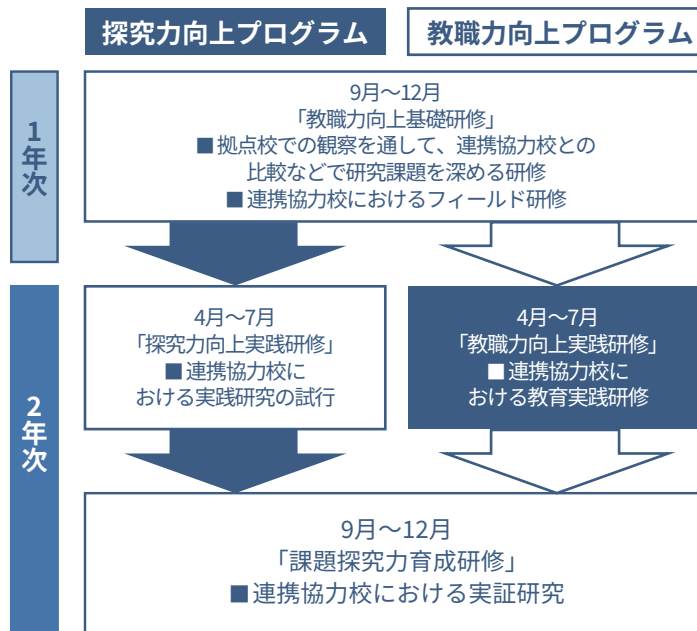
連携協力校の教育ニーズを踏まえた実践的な研究を行い、大学院修了後には、「教員の育成指標」の5年目と同程度の資質・能力を身に付けることを目指します。

教育実践高度化専攻(教職大学院)の組織図

コース	系	選択できるプログラム
学校マネジメント		教職力向上
教科指導重点	言語・社会科学	教職力向上 又は 探究力向上
	理数・自然科学	探究力向上
	造形・創造科学	
	小学校教育指導	教職力向上
児童生徒発達支援	生徒指導・教育相談	教職力向上 又は 探究力向上
	幼児教育実践	
	養護教育実践	
	特別支援教育実践	
地域・教育課題解決	外国人児童生徒支援	教職力向上
	ICT活用・科学ものづくり推進	

※上記に加えて、教職大学院に3年間に在学し、教職大学院の授業履修に加え、免許状取得に必要な学部の科目を履修することで、小学校教諭一種免許状や中学校教諭一種免許状又は二種免許状を取得することができる。小・中学校教員免許状取得プログラムがあります。

2年間の研修のイメージ



小学校授業に特化

小学校教育指導系

■ 子どもを丹念に見守る学級担任として、どの科目でも子どもがしっかりと学ぶことのできる授業法が知りたいといった学生ニーズに対応して、令和6年度から開設しました。幼小・小中連携や教科横断的な視点、授業づくりの方法論を学ぶことができます。

履修科目

教科横断的なカリキュラムの創造

カリキュラムの構想と授業づくり

教科教育の理論と実践(道徳・特別活動)

教科教育の理論と実践(小学校各教科)



よくある質問

Q: 愛知教育大学出身です。学部の頃にお世話になった先生の指導を引き続き受けられますか？

A: 教職大学院の指導担当となっている場合には、引き続き指導が可能です。学部担当の研究者教員による研究指導に加えて、実務家教員がサポートに加わることから、教職大学院ならではの手厚い指導体制となります。

Q: 教育学部出身ではないですが、出願できますか？

A: 教員免許状(一種)を取得していれば出願可能です。例えば、文学部や情報学部で教職課程を履修し、学部で習った専門性をさらに高めつつ教育分野に生かしていきたいという学生を歓迎します。

Q: 研究を続けたいのですが、無利子の奨学金が借りられますか？

A: 日本学生支援機構奨学金については、学部と異なり生計維持者の収入ではなく本人及び配偶者の収入額が家計基準選考の対象となります。よって、学部生に比べ家計基準の要件は緩やかとなっています。